



たらあ

平成 28 年

2 月号

平成28年2月1日発行

No.503

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



豆まき!
春近し!



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

安全・無災害 消防出初め式

去る1月6日多良間村消防団（奥原博樹団長）の消防出初め式がコミュニティ施設で行われた。団員（24名）は、1年間の安全・安心と無災害を願った。式典では島袋雅也さん、本村聖さんの新入団員に辞令が交付された。

あいさつで伊良皆光夫村長は「消防団員の皆様には、消防防災の最前線で地域の安全を守るために、ご尽力されていることに、心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。」



今日、災害や事故は複雑多様化の傾向を強めており、台風、集中豪雨による風水害が依然として後を絶たず、特に昨年は河川の氾濫・火山の活発化で自然の猛威を見せつけられました。また、大規模地震の発生も懸念されており、消防の使命達成がますます重要となっております。

本村においては、昨年はお陰様

にて、消防団員諸君の積極的な活動と日頃の予防活動によって災害の少ない年でありました。団員諸君は火災予防思想の普及向上により、出火の予防を第一とし、同時に出火時においては早期通報、初期消火、及び避難管理の徹底が大切であります。皆さんには、村民の生命財産を守るといふ崇高な使命のもと、尚一層ご尽力されることを希望いたします。

村としても、消防施設等の充実を図るとともに、団員の福利厚生

ます。」と式辞をのべた。

一日消

防団長を務めた平良百合恵さんは「近年の急激な社会情勢の変化の中で発生する各種の災害も複雑多様化し、その対応に多くの困難を伴う状況下にある。当

村の災害発生は皆無に等しい状況にある。いつ大災害や自然災害が発生するかもしれない、災害に備え日頃の訓練はもちろん我々団員は組織の強化に励み、村治安維持の責任を十分に果たしていく」と答辞をのべた。



住みよい村の発展誓う！ 新春の集い盛大に



けていくため、新製糖工場の事業推進、国営事業の地区調査から『地域整備方向検討調査』への継続取り組み、観光関連事業のレベルアップ、食と再生エネルギーの地元生産率の向上、社会福祉施設拡充、基礎学力の向上、人材・人手不足への対応、健康づくり、過疎化対策など気を抜けない課題ばかりです。

去る1月6日、多良間村（伊良皆光夫村長）主催の『新春の集い』がコミュニティ施設で行われ、住民や関係機関ら多数参加し新春の喜びを祝った。

あいさつで、伊良皆村長は「年頭に当たり、私は改めて村民の皆様への付託に応えることの重さを改めて肝に銘じ、多くの課題改善に向けて果敢に挑戦していく決意をしているところであります。村民の皆様には、昨年も村政推進のためそれぞれの立場でご協力を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。」

2016年の新年を迎えるに当たり、今年一年が新たな飛躍を続



『志あれば必ず道は拓ける』どんな向かい風にあっても、夢に向かって挑戦し続けることで、新しい力が生まれてくるものと信じております。村づくりは村長・議員・役場職員だけでなくできるものではありません。村民すべての力が必要であります。この思いを村民の皆様と共有し、力を合わせて誰もが多良間村で生まれ育ったことの誇りと、未来の希望が持ち続けられる村づくりのため、すべての村民のご協力をお願い申し上げる次第であります。」とあいさつした。

舞台では琉舞愛好会の幕開きではじまり、たくさんの方の余興があり会場・舞台と盛り上がり、新春を祝った。

晴の門出 大人の仲間入り



去る1月4日多良間村伊良皆光夫村長（主催の成人式が、村コミュニティ施設にて開催された。男性9人、女性8人が参加し、女性には鮮やかな振り袖姿、男性はスーツや袴姿で出席。成人式は近年、島外に住んでいる新成人者が多いため、正月の里帰りに合わせて開催している。この日式場では家族や関係機関、村職員が見守る中、華やかな雰囲気にも包まれた。また、祝賀会では「かぎやで風」で幕開けし、青年会らによる余興や民謡グループ「群星」により新成人を盛大に祝福した。



式典で伊良皆村長は「すがすがしい新春の良き日に新成人を迎えられた皆さん、ご成人おめでとうございます。新成人の皆さんを深い愛情をもって育んでこられましたご両親をはじめご家族の皆さんのご苦労に心から敬意を表します。皆さんの中には、既に社会人として

て表舞台で活躍されている方、またその身を学業におかれ将来の夢の実現に向かって力を蓄え、英気を養っている方と様々であります。これからは社会の一員として、視野を広く持ち、社会・経済が国際化、高度情報化の潮流の中で大きく変化・進化を遂げようとも、様々な経験を積み、より一層教養を磨き、立派な大人として責任を果たしていただきたい。

皆さん、学び舎の多良間中学校の教訓を覚えていきますか。校歌の一節にもでてくる「至誠」であります。吉田松陰が座右の銘として、「至誠にして動かざる者未だ之有らざるなり」からきた言葉であります。「真心をもってことにあたれば必ず道は拓ける。人間にとって一番大事なのは真心である」という意味である。皆さんの周りには愛情を注いでくれるご家族や恩師、信頼できる仲間がいるはずです。その方々との絆を大切にしながら「感謝」の気持ち

を忘れずに自らの「至誠」をもって困難を切り拓いていって下さい。私は皆さんが「ふるさと多良間村」に誇りを持ち、それぞれの分野で活躍されることを期待します。今は多良間を離れている方も、必ずやふるさとに帰って限りない力を発揮されることを希望します。」と式辞を述べた。

新成人を代表して照屋健太郎さんは「私たちの門出をお祝いくださ

いましてありがとうございます。村長をはじめ、来賓の皆様から温かいお祝いとお言葉の頂き新成人としての喜びを噛み締めると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。今日から社会人一年生として皆様方の仲間入りをさせて頂くことになりました。皆様から頂いた意義深い教訓を、胸に刻み、社会という大海原に胸を張って船出していきたいと思います。私たちは今日という日を心待ちにしています。等しく成人としての自覚を新たにし、大人社会の一員として、ベストを尽くす所存です。」とあいさつした。



平成27年 第4回多良間村議会定例会

多良間村議会(森山実夫議長)の12月定例会が昨年12月15日開会した。村当局から提案された議案が審議され、一般会計歳入歳出予算の総額をそれぞれ55億1047万9000円とした。

また美ぎ島づくり条例制定では、「美ぎ島づくり条例は快適な生活環境を確保し、多良間県立自然公園、日本で最も美しい村づくりを推進するため行政や住民、事業者等が協力して村内の環境美化の促進を図ること」を目的に制定。一般質問では5氏が登壇し、村政全般について伊良皆光夫村長の考えをただした。

開会2日目は多良間中学校3年生27人が村議会の傍聴を行った。目的として、地方議会を傍聴し、地方自治に対する関心を持つ。また議会について理解を深め、どのような役割を果たしているか、村財政の現状と課題等について学習した。

* 議会定例会提案事項

認定第61号	平成27年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
認定第62号	平成27年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
認定第63号	平成27年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
認定第64号	平成27年度多良間村後期高齢医療特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
認定第65号	多良間村美ぎ島づくり条例の制定について	原案可決
議案第66号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	原案可決
議案第67号	多良間村税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第68号	多良間村職員の再任用に関する条例の制定について	原案可決
議案第69号	多良間村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	多良間村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	多良間村税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	定住促進住宅建築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第73号	財産の取得について	原案可決
議案第74号	財産の取得について	原案可決
議案第75号	多良間村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	
発議第7号	機材故障による欠航時の臨時便対応を求める決議	

広報たらま寄付金のお礼

羽地 弘様(大阪府箕面市在)

砂川 守之丞様(沖縄県西原町在)

有難うございます。

初セリ高値取引

子牛101万円で過去最高値

去る1月19日J A多良間家畜市場において平成28年の初セリ式典が開かれた。畜産農家や関係機関らが参加し、今年の高値取引を記念し初セリに臨んだ。

式典で伊良皆光夫村長は「昨年の子牛取引価格は過去最高を更新する高値販売が続き、一年間の販売高も過去最高となりました。

購買者の皆様や、生産農家の日頃からの飼養管理、改良等のため取り組み、並びにJ Aをはじめとする関係機関のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

農家の皆様には、優良雌牛の保留による増頭、飼養管理、改良等自信を持って励まれますようお願い致します。各地域とも、後継者不足などから急激に飼養頭数が減少しており、多良間市場も心配するところであります。雌



子牛保留助成金も活用しながら、系統のよい雌子牛の保留を徹底してほしいとお願い致します。」と述べた。

市場では高値取引が期待される中、伊良皆村長が上場一番牛(島袋一雄氏所有)の「島北福号」266Kgを引き連れてセリにかけた。結果、101万円余(税込)で競り落とされ、市場内からは歓声や拍手が沸き起こった。初セリは子牛98頭、成牛8頭が上場され、総販売額6700万円余であった。

唐辛子生産組合を設立

島に新たな作物呼び込む

昨年12月村コミュニティ施設において、多良間村唐辛子生産組合の設立総会が行われた。結成時の組合員は20人で、総会では規約や役員、予算などを決め、会長に野原忠彦氏が選任された。同組合は、「唐辛子による島興しを目指し、唐辛子の生産技術の向上、品種改良増殖、会員の相互協力、研鑽を図る。」ことを目的とした。

唐辛子は高齢者等にも向いた農作物として栽培しやすく、複合経営として島とうがらしの生産振興や技術の向上、品種改良及び共同出荷をしていくと意気込みを見せた。

会長に選任された野原さんは「多良間の基幹産業はサトウキビ、そして畜産、葉たばこである。その端境期の作物として『とうがらし』は適していると思う。収穫期間が短く年に数回収穫でき、選別作業も家族でできる有望な作物である。組合員の皆さんと知恵を出し合い栽培技術の向上、品質管理などをやっていきたい」と呼びかけた。

また来賓の伊良皆光夫村長は「私たちの島に新たな作物が誕生する。この日を待ちわびていました。誰にでも栽培しやすく、敷地内



や小さな土地でも有効可能である。大量生産すれば今後フライト作物としても挑戦できる。行政としても協力していきたい」と激励した。

*唐辛子生産組合の役員は次の通り。

- 会 長: 野原忠彦
- 副会長: 大城隆夫・伊良皆和枝
- 事務局: 手登根健市・外間徳光
- 監査役: 大見謝正勝

ふるさと納税寄付金のお礼

砂川 長紀様
(沖縄県石垣市在)
教育関係コースで五拾万円のご寄附がありました。有難うございました。



「ふるさと納税寄附金」制度が導入されたのは2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思って頂ける方に「ふるさと納税寄附金」を通じて多良間村を応援して頂くものです。

★寄附金の事業区分は次の通り

- ①教育関係コース
- ②産業振興関係コース
- ③自然環境関係コース
- ④村長にお任せコース

があり、複数選択可能!
*「ふるさと納税寄附金」についての詳細は、多良間村のホームページ「ふるさと応援寄附金」からクリックしてください。

多良間中学生 工事現場を見学

昨年12月多良間中学校（本村晃則校長）生徒1年・2年生（44名）は、多良間港（普天間地区）でのフェリーが行き来する「航路拡幅工事」の現場を見学した。

案内に大建設多良間作業所現場代理人（上原氏）が工事の概



中学校へ刈払機寄贈

この日概要説明後に、上原篤現場代理人はエンジン刈払機2台を、社会貢献の一環として寄贈した。贈呈式で上原さんは「学校の環境美化活動に役立ててほしい」と本村校長へ贈った。



第30回子ども駅伝大会 大道区が優勝

去る1月11日、多良間村子ども育成連絡協議会（本村雅則会長）は、第30回多良間村子ども駅伝大会を開催。村役場前をスタート、ゴール点として18区間に7チーム（126名）が参加した。

「スポーツを通して子どもたちの体力の向上と、力強い精神力を養うこと」を目的とし毎年開催されている。幼稚園児から小学校、中学校生徒らが男女交互にタスキを繋ぎ競争した。沿道での多くの住民や保護者の声援を受け汗を流した。

結果は、
優勝：大道区（1時間5分14秒）
準優勝：嶺間区（1時間5分22秒）
3位：大木区A（1時間7分21秒）



18区	17区	16区	15区	14区	13区	12区	11区	10区	9区	8区	7区	6区	5区	4区	3区	2区	1区	*区間1位の結果は次の通り
本村雄飛（嶺間）	久志勝一（大道）	渡口竜晴（大木A）	小禄翔（大木A）	西筋亮太（大木A）	下里麻斗（土・津宮）	美里純也（大道）	桃原久実（大木A）	美里鳴海（天川）	本村琴美（嶺間）	美里和（天川）	豊見城花（嶺間）	佐和田空（天川）	垣花優里（嶺間）	西平楓（天川）	宮国璃星（吉川）	下地秀吉（大道）	名嘉真夏海（吉川）	

村長杯争奪G・B大会

昨年12月2日、第30回多良間村主催村長杯争奪ゲートボール大会が、村営ゲートボール場で開催された。『がんじゅうどう いつばん いつがみまいどー!!』をテーマに、ゲートボールを通して老人クラブ会員及びゲートボール愛好者の結束を図るとともに、健康増進に努め会員相互の交流と親睦を深めることを目的として行われた。

20チームの100人余が参加、冷たい北風が吹く中、和気あいあいとチームワークで競技を楽しんだ。

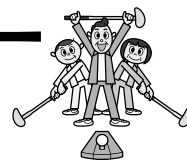
競技の結果は、優勝が宮良Aチーム、準優勝は津川Bチーム、3位は大木Bチームであった。



.....



歳末たすけあい チャリティー G・G大会



昨年12月23日に多良間村歳末たすけあいチャリティーグランドゴルフ大会(主催同実行委員会)が小学校グラウンドで開催された。多くの住民や地元企業らが福祉のため浄財を寄付。この日50人余の人がゴルフを競い合った。

.....

ダンスパーティー大盛況

去る12月11日、村コミュニティ施設では70年代を彷彿させるミラーボール輝く夜を迎えていた。

この日行われた「ダンスパーティー 2015」は、ダンスサークルひまわりの会(代表・渡口末子)が企画実施。約50名の男女が集まり懐かしい音楽に合わせてダンスを楽しんだ。初心者からベテランまで一堂にステップを踏み、微笑む様子は、街のダンスホールに負けない華やかさにあふれた。

なお、ダンスパーティーの収益金は年末に行われた「歳末たすけあいグランドゴルフ大会」にて村社会福祉協議会へと寄付された。



.....

歳末助け合いで募金

昨年12月、多良間村内の多良間村建設新生会(知念吉信会長)と多良間石油(知念淳子社長)らは、多良間村社会福祉協議会(豊見城勝正会長)を訪れ、歳末助け合い運動募金を贈呈した。

贈呈式で知念会長は「お年寄りたちの介護や安心して毎日の生活が送れるように福祉増進に役立ててほしい」と話した。

豊見城会長は「お年寄りが毎日笑顔で安心した生活が送れるよう役立てていきたい、有難う」と感謝した。

贈呈した会社は次のとおり

- 塊心建設(知念吉信社長) ● 糸数興業(糸数英行社長)
- 下地土建(知念功巖社長) ● 丸真産業(名嘉真康夫社長)
- 知念土木(知念三雄社長)



保健師からのお知らせ

今回の保健師からののお知らせは、もしかしたらご覧になった方がいるかもしれません。平成27年12月17日の宮古毎日新聞に投稿した「がんずうスタイル〜健康づくりリレー連載〜」のものです。この企画は、宮古福祉保健所が主導して宮古、多良間地区の健康づくりに関する情報や取り組みを関係団体が順番に投稿していくもので、12月は多良間村が当番になっていました。内容はそこで投稿したのですが、せっかくなので広報誌にも掲載してもらうことになりました。以下、新聞に掲載された内容になります。

タイトル:「楽しみながらできる健康づくりって良いですね」

投稿者: 多良間村住民福祉課

8月より寄稿させて頂いている「がんずうスタイル」ですが、5回目は多良間村からの話題をお届けします。

これまでの連載において宮古島市の各団体よりメタボや生活習慣病について考察及び提言がありました。多良間村においても住民健診結果をみると宮古島市と人口規模の違いこそあれ、ほぼ同様な結果となっています。隣接する市村であり、交通においても宮古島市を経由しなければどこにも行けません。文化交流はさることながら生活習慣病の傾向も共有してしまっているのかもしれない。そうした中で多良間村においても生活習慣病予防について役場主導の事業を展開していますが、今回は村内の青年による自主活動についてご紹介したいと思います。

団体名は「バレー同好会」です。村内で毎年開催される職域バレーボール大会に向けた練習の際、この時期だけで終わらずに通年活動できる団体を作ろうと有志が声を上げました。結成当初は男子のみでスタートしましたが、今年度からは女子も加わり20歳代から50歳代までの総勢30人が活動しています。また、バレー同好会は年1回「多良間スーパーバレー大会」を主催し、小・中・一般男女それぞれの部で熱戦が繰り広げられました。参加者の話を聞くと、「本格的にバレーをしたい人や健康



づくりの一環として参加する人等、参加目的は様々で初心者から上級者までいるが、和気あいあいとバレーを楽しんでいる」とのことでした。大会の主催や島外への遠征等の費用は、島内の清掃や防除等の作業を請け負って賄っているそうです。

多良間村では健康増進計画（がんじゅうたらま21計画）策定の際に実施したアンケートや各団体の代表者による作業部会による聞き取りにおいて、集会や模合等の集まりが多く、自宅では飲酒しなくても毎日のように集まりがあって飲酒していることが明らかになりました。また、車や自転車を利用することが多く、運動不足であることも問題となっています。そうした中で、先ほどご紹介したバレー同好会は、多良間村の抱える健康課題を解決させる可能性のあるすばらしい活動ではないかと思えます。なにより楽しみながら続けていけるということがミソではないでしょうか。

皆さんは住民健診が近づくとお腹まわりや体重が気になってきませんか。その時一時的にでも改善できる人はすごい人です。もしかしたらその方法で良いのかもしれない。しかし、多くの人は年齢と共に少しずつ体重が増え、血圧が上がり、悪玉コレステロールが増えていきます。食事や運動もそうですが、楽しく日々続けていける、そういう活動ができるといいですね。もちろん私達の事業（栄養教室、体操教室）でもバレー同好会に負けないような内容を準備していきたいと思えます。とりあえず、何か始めてみようとお感じになったら、ご参加下さい。

12月

世帯数と人口 (平成27年12月末現在)		
総世帯数	525 (0)	
総人口	1,192 (-6)	
男	641	女 551
区 別	人 口	世帯数
土 原	66 (0)	31 (0)
天 川	94 (0)	39 (0)
津 川	107 (0)	52 (0)
宮 良	71 (2)	30 (0)
嶺 間	148 (-1)	66 (0)
大 道	189 (-3)	92 (-1)
大 木	297 (0)	124 (1)
大 吉	215 (-4)	87 (0)
水 納	5 (0)	4 (0)
出 生	0	死 亡 1
転 入	1	転 出 6

() 内は前月比

おくやみ 宇塩川 名嘉真ヨシ 平成27年11月30日(91歳)

緊急ダイヤル

火災・救急 ワンクッションコール	119番
警 察 官 派 出 所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所医師	79-2162
停 電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断 水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること (1月)

- ◆時間外救急受付 19件
- ◆救急車出動 3件
- ◆ヘリ搬送 3件

火災・救急ワンクッションコール:
119

※緊急の場合以外診療時間内
での受診を心がけよう

1月牛セリ結果 (平成27年1月19日実施)

◇全体

区 分	去 勢	牝	合 計
上場頭数	65	34	99
成立頭数	64	34	98
成立(%)	98.46	100	98.99
販売価格(円)	45,806,040	18,905,400	64,711,440

◇12ヶ月以内

区 分	去 勢	牝
あ た り 頭	最高	1,013,040円
	最低	509,760円
平均体重	245kg	230kg
平均価格	707,754円	556,041円

字塩川 新役員紹介

昨年11月に塩川字会は総会を開き27年度の会計報告や活動報告を行った。また役員改選では次の通り選任された。

字会長のコメント「字民の融和、親睦を図り年間行事、伝統文化の継承発展に尽力する。自然環境の保全・創出を図り、字有地の管理、運営に努めます。」



字会長: 福嶺 常夫

副会長: 天久 春則

副会長: 友利 哲市

庶務: 下地 明

会計: 清村 賢一

監査役: 知念 信雄

新区長紹介 字塩川4区長が交代



嶺間区長: 翁長 文一



大道区長: 野里 雅明



大木区長: 垣花 幸徳



吉川区長: 新里 勝美

宮古島税務署からのお知らせ

確定申告はご自分で作成してお早めに!

申告はできるだけご自分で作成して、お早めに提出して下さい。

【平成27年分の確定申告書等の提出・納期限】

所得税及び復興特別所得税	3月15日(火)まで
贈与税	3月15日(火)まで
消費税及び地方消費税(個人事業者)	3月31日(木)まで

【振替日*振替納税(口座振替)をご利用されている場合】

所得税及び復興特別所得税	4月20日(水)
消費税及び地方消費税(個人事業者)	4月25日(月)

◎申告の作成は「確定申告書等作成コーナー」で!

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税、消費税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。

「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、印刷して書面により提出できる他、e-Tax(電子申告)を利用して提出することもできます。

お問合せ先: 宮古島税務署 TEL:72-4874

ハンセン病にかかったことはありませんか?

～補償金の申請手続期限(H28.3.31)が迫っています～

過去にハンセン病にかかったことがある方には、国から補償金(和解一時金)が支払われています。(既に亡くなられた方も対象となります。)

療養所に入所したことがない方も対象となります。

補償金の対象者ではありませんか?

- すでに国から補償金(和解一時金)を受け取った方は、対象とはなりません。
- 対象者がお亡くなりになられている場合は、御遺族(法定相続人)にお支払いしています。
- 期限が迫っています(手続期限:平成28年3月31日)。
訴訟の手続が必要ですので、余裕をもって御相談ください。

相談窓口(いずれかに御相談ください)

- 公益財団法人 沖縄県ゆうな協会:098-832-9528
- 厚生労働省(難病対策課):03-5253-1111 内線2369

「ハンセン病の補償金について」とお伝えください。
担当者が対応いたします。

- 家に保健所や病院の方が来ることはありません。
- 名前が公表されることもありません。
- 手紙や電話が突然来ることもありません。
- 家族・友人に知られることもありません。
- 御質問や請求申請をされる方のプライバシーは固く守られます。
- どんなことでも結構です。まずは、お問い合わせください。

ハンセン病について正しく理解し、
偏見や差別をなくしましょう!

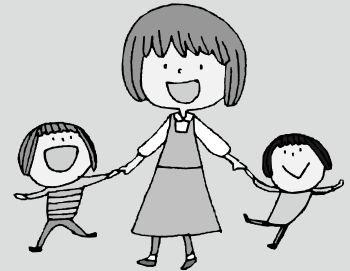
ハンセン病は、感染し発病することが、極めて稀な病気です。
優れた治療薬により完治します。元患者の方々の身体の変形は後遺症にすぎません。

早期に治療すれば、身体に障害が残ることはほとんどありません。

求人 多良間村臨時職員募集!!

村立多良間保育所保育士(臨時職員)

- 募集人数：2名(保育士免許保持者)
 - 勤務日・勤務時間：月曜日～土曜日まで(保育所の勤務体制による)
 - 募集資格：男女問わず
 - 給与：時給750円～
 - 期末手当：年2回 3万5千円を支給
 - 社会保険・雇用保険：有
 - 有給休暇：有
 - 採用月日・期間：面談の上決定(6ヶ月ごとに更新できます)
 - 住宅の提供はありません
- 応募方法：下記担当者課、係にお問い合わせの上、履歴書提出



住民福祉課 担当者：源河 ☎(0980)79-2623 / 保育所：本村 ☎(0980)79-2271

空港管理課事務補助員(臨時職員)

- 募集人数：1名(普通免許)
 - 勤務日・勤務時間：シフト制による勤務
 - 募集資格：問わず
 - 給与：時給700円～
 - 期末手当：年2回 3万5千円を支給
 - 社会保険・雇用保険：有
 - 有給休暇：有
 - 採用月日・期間：面談の上決定(6ヶ月ごとに更新できます)
 - 住宅の提供はありません
- 応募方法：下記担当者課、係にお問い合わせの上、履歴書提出



空港管理課 担当者：波平・佐和田 ☎(0980)79-2637 / Fax(0980)79-2211

村営宿泊施設「夢パティオ」フロント係(臨時職員)

- 募集人数：1名(普通免許)
 - 勤務日・勤務時間：シフト制による勤務
 - 募集資格：男女問わず
 - 給与：時給700円～
 - 期末手当：年2回 3万5千円を支給
 - 社会保険・雇用保険：有
 - 有給休暇：有
 - 採用月日・期間：面談の上決定(6ヶ月ごとに更新できます)
 - 住宅の提供はありません
- 応募方法：下記担当者課、係にお問い合わせの上、履歴書提出



観光振興課 担当者：清村 ☎(0980)79-2260 / Fax(0980)79-2664

一般事務補助員(臨時職員)

- 募集人数：若干名
 - 勤務日・勤務時間：月曜日～金曜日まで週5日／午前8時30分～17時15分(休憩時間は1時間)
 - 募集資格：男女問わず
 - 給与：時給700円～
 - 期末手当：年2回 3万5千円を支給
 - 社会保険・雇用保険：有
 - 有給休暇：有
 - 採用月日・期間：面談の上決定(6ヶ月ごとに更新できます)
 - 住宅の提供はありません
- 応募方法：下記担当者課、係にお問い合わせの上、履歴書提出

観光振興課 担当者：清村 ☎(0980)79-2260 / Fax(0980)79-2664

村長のたうけ一むぬ中む。(ひとりごと)

2016年NHK大河ドラマ

「真田丸」がスタートした。戦国時代に活躍した「真田幸村」が主人公だ。漫画などでもおなじみの「真田十勇士」を従えて活躍したことも知られている。十勇士のなかの猿飛佐助(甲賀忍者)や霧隠才蔵(伊賀忍者)など覚えている人は多いと思う。現在でも「真田幸村」の名前で広く知られているが「信繁」が正しいとされている。「幸村」名は、彼が大坂入城後に名乗ったとされる。

真田信繁(幸村)は戦国時代の武将で、信州小大名真田家の一族として父昌幸の次男として生まれた。彼が有名になるのは太閤豊臣秀吉が亡くなった後、関ヶ原の戦いが始まるあたりである。当時の日本は東軍徳川方と西軍豊臣方まっぴらに分かれていた。この時の真田家の対応は割れ、真田信繁(幸村)とその親である真田昌幸は西軍に、信繁の兄である真田信幸は東軍についた。なぜこのとき真田家が割れたのかは諸説ある。東西どちらの軍が勝っても真田家が潰れないようにあえて割れたという説。真田家としては西軍につきたかったが、真田信幸の妻は東軍徳川家の重鎮である本田忠勝の娘だったの

で、信幸だけは徳川家につかざるをえなかったとの説である。関ヶ原の戦いは東軍徳川方の勝利に終わる。それから十数年たち、大坂冬の陣が始まる直前、信繁(幸村)は豊臣秀頼の招きで大阪城に入り、徳川軍と戦うことになる。信繁(幸村)は豊臣秀吉が生前、築城の際に悩み込んだ大阪城の唯一の弱点であったとされる三の丸の南側に「真田丸」と呼ばれる出城を築き立てこもった。当然、「真田丸」は徳川方の総攻撃を受けるが、真田丸は奮戦し持ちこたえる。真田丸を落とさないと大阪城を攻撃できない。それでも真田丸は落とせない。あせった徳川方は「十万国を与えろ」という条件で寝返りを誘う。信繁(幸村)はことわる。さらに「信濃一国を与える」という破格の条件が提示された。そのときも信繁(幸村)は再びはねのけて「十万石では不忠者にならぬが一国では不忠者になるとお思いか」と使者に伝え、この破格の待遇を拒否、豊臣家への忠誠を貫き通した。この奮戦と寝返り拒否で、信繁(幸村)の武名は天下にとどろいた。

その後、大坂夏の陣が始まり、堀を埋められた豊臣方は、徳川方に最後の戦いを挑んだ。徳川方兵力15万、

豊臣方兵力5万、圧倒的な劣勢のはずの豊臣方が各戦線で奮戦し、徳川方は次々と崩れていった。しかし、数度に渡る突撃戦により、部隊は消耗し、兵力に勝る徳川勢に追い詰められる。傷つき疲れた身体を休ませていたところを、鉄砲組頭の西尾宗次に発見され、「わしの首を手柄にされよ」と最後の言葉を残して討ち取られた。享年49歳。

真田幸村は、戦いで敗れた敗軍の将でありながら、その後の時代を生きた人々の心をつかんで離さない。現在でも真田幸村の居城・上田城がある長野県上田市には、真田家の家紋である「六文銭」を制服につけた高校や、校歌や校章に「六文銭」が使われている小・中学校があるという。



編集後記

♪畜産農家にとっては嬉しい悲鳴である。昨年从高値取引が続く中、1月セリ市場では高値取引であった。伊良皆村長が引きいる上場一番牛が101万円で競り落とされた。今後右肩上がりの取引が期待される。

♪村が主催するH28年の成人式に17名の新成人者が駆けつけた。振り袖姿に袴姿、新鮮な大人を感じる。大人の仲間入りとなった今、今後の責任の重大さを痛感し社会という大海原に胸を張って船出してほしい。そして今は皆、多良間を離れているが、必ずやふるさとに帰って限りない力を発揮してほしい。

♪第30回子ども駅伝大会が開催。保育園児から中学3年まで126名が参加。年々子どもの数が減る中、今大会は3部落が合併。30年も続くタスキリレーはあつぱれだ！

♪昨年12月に唐辛子(クウシュ)生産組合が結成された。組合員20人、唐辛子による島興しを目指すという。唐辛子はスパイスとしていろんな料理に使用される。夏バテの食欲不振などには抜群だ。端境期の作物として今後は産地化となるだろう。

♪去る1月24日前後に、この冬一番の大寒波である。上空に流れ込んだ寒気の影響で記録的な寒さとなった。沖縄本島では雪が確認された。多良間でも「みぞれ」が確認されたと数人から報告を受けた。気象台は観測史上3番目の寒さと発表！多良間でも9度(宮古島で7.4度であった。みぞれとは、雨と雪が混じったものをいい、上空から雪が降ってくる途中、地上近くの気温が高いと雪がとけて雨になる。一部分とけずに雪のまま落ちてくると、みぞれになる。みぞれは、観測分類上は雪に含まれる。ほんとに寒かったな！

てるけん

多良間村史(民話)より……………シリーズ④

うらんだ船遭難の話

* 昨年の広報たらま11月号で「オランダ商船ファン・ボッセ号の調査報告」を掲載した。その流れとして、オランダ船遭難の伝説を紹介する。

今から150年前(1857年)の初夏であつたらしい。村の漁師たちが西の高田海岸に行った時のこと、急にびっくりし気絶するほど驚いて、家にとんで帰つての話がこうだ「赤髪の頭の、天につくほどの大男たちが、三十人ぐらい上陸して来た」と。村中「人殺しが来た」と上を下への大騒ぎ、麦を収穫し麦打ちの頃だったそうで、麦打ち棒は捨てて、かくれんぼみたいにあちこち逃げ回っていたらしい。そのころ字塩川のメーラ屋の先祖が、キレ者で、「理由なしに人を殺すことはない。行つて様子を見てみよう」と行つて手まね足まねで話したところ、人殺しどころか「自分らは遭難者だからなんとか助けてくれ」とのことのある。メーラ屋の爺さんは早速このことを役所に連絡。役所からは水や食糧を持って来て、あれやこれや、世話をして根気をつけ、村に案内をしてやっと落ち着かせたらしい。聞くとこの遭難者たちの船は、中国の

上海からシンガポール向けの商船であつたらしい。彼らが手に持つてして上陸した物は、主なるものでは自分らの衣類、鉄砲、刀剣、双眼鏡、犬一匹、猫一匹である。彼らは約十日ぐらい多良間に滞在していたらしい。この島を出発するときは一匹の犬は島に置き去りにして行つたので、主を失つた犬はアカダン(南海岸)のアドン林の中に逃げてここを住家にした。島の人たちは、かわいそうだと、漁に行った人も、野原に仕事に行った人も食べ物をやつてかわいがり、人に馴れさせていた。そしてこの雑木林をウランダ山というようになつた。また彼らの船が座礁したところをウランダグーというようになり、その名は今日まで残っている。漂流者たちは三年目に多良間島にお礼に来たところ、心残りしていた犬を、島の人々が大事にしていたので、たいへん感謝して、自分らと一緒に連れて出発したらしい。

話しはもとへ戻るが、彼らは滞在中、家ごとにあるコショウ(クーシユ)を不思議に思い、ある青い眼をした人が、多良間の誰かの目を見つめていて、黒い眼をしているが、「ほんとに視力は十分かな」と目を突こうとしたところ、強くまばたいて反応したので、「ああなるほど、視

力は大丈夫だなあ」と笑つた。それからは彼らどうし、家ごとにあるコショウを栽培しているので、皆視力は丈夫になつていくのだと感心したらしい。それからというものは、多良間島内では大事な目薬だと重宝がられ、家ごとに沢山作つて調味料として用いたらしい。

またある日彼らのうちの一人が、両手の人差し指を出し、額に当てて何かをほしがっているらしいので、島の役人たちは、何が何やらわからないので、亀山家の先祖に伺つて見たら、「牛肉を欲しいといっているのだよ」というと、役人たちは、「貧乏役所には金一文もないし、高い牛を買つて彼らに食べさせることはとても無理だ。どうしようか」と、さうに、亀山家の爺さんはくすくす笑いながら、役人たちの心配そうな姿が見ておれそうでないので、

「心配しないで下さい。私の家に大きな牛がおりますからこれを上げよう」と。役人たちも大そう喜び、彼らもしたたかご馳走になつて、その謝礼に、持つていた遠眼鏡を亀山家の爺に上げたそう。爺は百姓者にはこれはいらんと役所に寄贈したそうで、その遠眼鏡

は大正の末頃まで役場にあつたといわれる。あの頃大きな牛を無料で、しかも知らない他人に提供するのは誰にも到底できず考えられないこと。昔から誰にでも出来ない善行の人であるところがめられた。

オランダ船の錨は、座礁した高田の海底から引き上げられ、前泊(北の浜)から村の学習資料館に保存されている。

不思議なことに、なぜ犬と猫を連れていたか? 昔からの話したが、犬は無人数に上陸したら絶対吠えないとのこと、また猫は危険の兆しがあると予報役として夜泣きしないそう。また天候の予報、遭難の兆しを知らせ、船の針路が狂つた時、北極星に向かって座り、航行中、間近の島の方に向かって座るといふ話があるが果たしてどうかなあ。理屈に合っているだろうか。

